

令和4年9月30日  
茨城県福祉部子ども未来課長 長島 ゆみ子  
(担当：大野 029-301-3243 (内：3241))

## 第1回いばらき保育の魅力コンテストについて

本県では、今後、少子化が更に進行していく中で、保育施設等が選別される時代になっていくことを見据え、県内の特色ある保育の取組をピックアップし、県民の皆様にいばらきの保育の魅力を発信するため、「第1回いばらき保育の魅力コンテスト」を開催し、10月1日より特設サイトにて公開いたします。

選定に当たりましては、保護者、保育現場からの視点も取り入れるため、子育て支援団体の代表者や保育団体の代表者に審査委員として参加いただき、下記のとおり2つの部門で6つの取組を選定しております。

なお、選定された取組についてはプロの取材・撮影による紹介ムービーを作成するとともに、今回応募のありました全ての施設の取組を特設サイトで紹介しており、保護者が保育施設を選択する際の参考としていただきたいと考えておりますので、是非、記事掲載いただきますようお願いいたします。

### 記

#### 1 事業の概要

- 対象施設 保育所、認定こども園、小規模保育事業所（家庭的保育を含む）
- 募集内容 以下2つのテーマに該当する特色ある取組を選定  
①あそび・まなぶ部門（3取組） ②たべて・そだつ部門（3取組）
- 特典 プロの取材・撮影による紹介ムービーを作成し、特設サイトで公開

#### 2 選定結果

##### (1) あそび・まなぶ部門（応募総数 41 取組）

施設名	取組タイトル
はぐくみの森あさひ保育園（水戸市）	体幹を鍛える這う運動あそび
さしま保育園（坂東市）	遊びで心を耕そう！
認定こども園大成学園いなだこども園（笠間市）	いなだっこ理科教室～豊かな心を育む里山保育の実践～

##### (2) たべて・そだつ部門（応募総数 25 取組）

施設名	取組タイトル
青山こども園（鉾田市）	子ども主体の楽しい食育
大洗かもめ保育園（大洗町）	うきうきワクワク体験活動と残さず食べよう食育活動
認定こども園 小山保育園（坂東市）	お・も・て・な・し こどもレストラン

#### 3 特設サイトについて

特設サイトURL：<https://ibarakihoiku.jp/>

検索ワード：「いばらき保育の魅力コンテスト」等

<選定取組詳細>

1 あそび・まなぶ部門 (応募総数 41取組)

施設名：はぐくみの森あさひ保育園

取組名：体幹を鍛えるという運動あそび

- ・乳幼児は相対的に頭が大きく重いため、顔や頭のケガが多い → 体幹を鍛えることが重要！
- ・年間を通して、ハイハイレース、タオル綱引きなど「体幹を鍛えるという運動あそび」に取り組む。
- ・身体の筋力アップや難しいことができた達成感など、子どもの身体とところの育ちにつながっている。



施設名：さしま保育園

取組名：遊びで心を耕そう！

- ・泥遊びや水遊び、田植えやザリガニ釣りなど自然との関わり → 好奇心、探求心、想像力を育む。
- ・近隣のお寺の礼拝に参加、芝山やツリーハウスでの活動 → 冒険心を満たす。

資料②

毎週水曜日、まつ組はお出掛け保育で探検してきます。

SASHIMA



施設名：認定こども園大成学園いなだこども園 取組名：いなだっこ理科教室～豊かな心を育む里山保育の実践～

- ・地域の豊かな自然環境を活かした野山散策や沢遊び・野外調理など → 自然の大切さや楽しさを学ぶ。
- ・園が整備したピオトープでの、ホタルが生息できる環境づくりを体験 → 環境づくりの大切さを知る。  
→ 子どもたちに、地域への愛着と環境保全への心が生まれ、感性や協調性、知的好奇心が育つ。



## 2 たべて・そだつ部門（応募総数 25取組）

施設名：青山こども園 取組名：子ども主体の楽しい食育

- ・子どもたち自ら育てたい作物を選んで『栽培』、収穫した作物の『調理』、皆で味わう『共食』の三本柱を実施  
→ 食と農にあふれる茨城県の魅力を子どもたちに味わってもらおう。
- ・「食育ブース」を設けて収穫した野菜やクイズ等を展示 → 保護者を含め、家庭での食事体験の充実につなげる。





施設名：大洗かもめ保育園 取組名：うきうきワクワク体験活動と残さず食べよう食育運動

- ・豊富な農業体験、食に関する体験：ジャガイモ掘り、サツマイモの苗植え、芋掘り、田植えに稲刈り、野菜作り、収穫物で作る団子やおにぎり、ジャム作り → 園児の心と体の成長を通じた保護者の信頼感の醸成。
- ・栄養士による野菜の栄養や食事の栄養といった食育や、給食の食器の見直し → 給食の食べ残しの減少



施設名：認定こども園 小山保育園 取組名：お・も・て・な・し こどもレストラン

- ・園児が、自分達で育てた「じゃがいも・にんじん・たまねぎ・きゅうり・スイカ・オクラ」を使い、自分達でカレーを作る → 自ら育てることで、積極的に草刈りをするなどの園児の成長が見られた。
- ・こどもレストランのウェーターやウエイトレスになり、招待した家族に自分で作った料理を提供 → レストランの飾りつけなど、園児達が協力し合う気持ちを育んだ。
- ・連携施設として家庭的保育（保育ママ）を設置・運営して、本園との交流を実施 → 行事や生徒数の少ない家庭的保育についても本園で実施する食育など広がりのある保育を実施した。

